

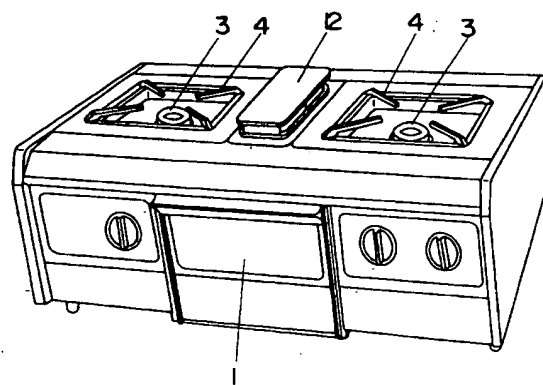
断面図である。

(1)はグリル、(2)は排気口、(3)はコンロ用ガスバ  
ナ、(4)は五徳、(5)は五徳支持板、(6)は煮汁返し  
片である。

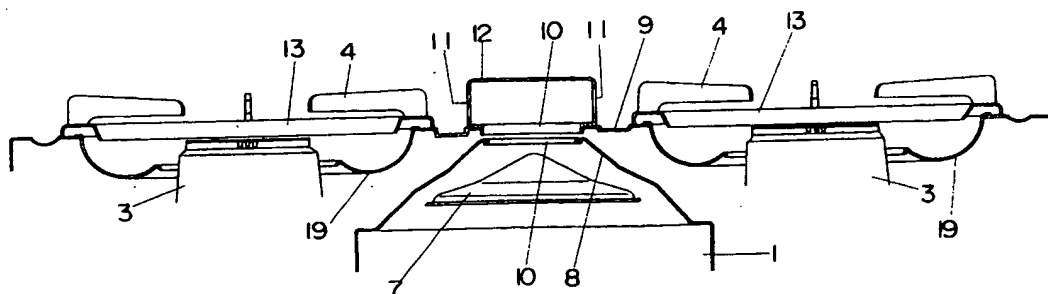
代理人 弁理士 石 田 長 七



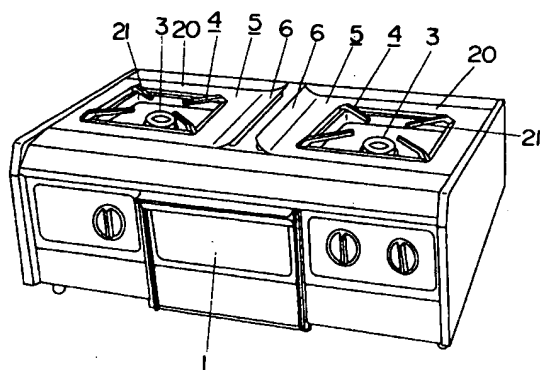
第 1 圖



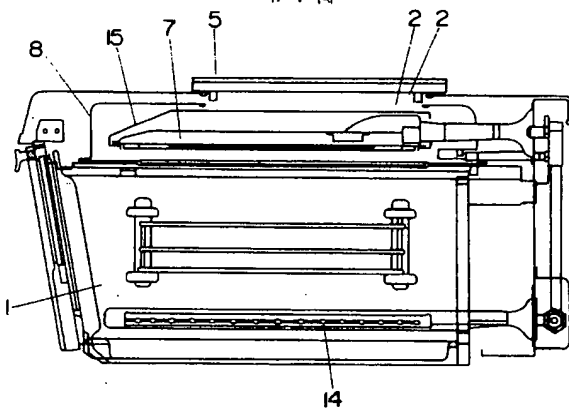
第 2 圖



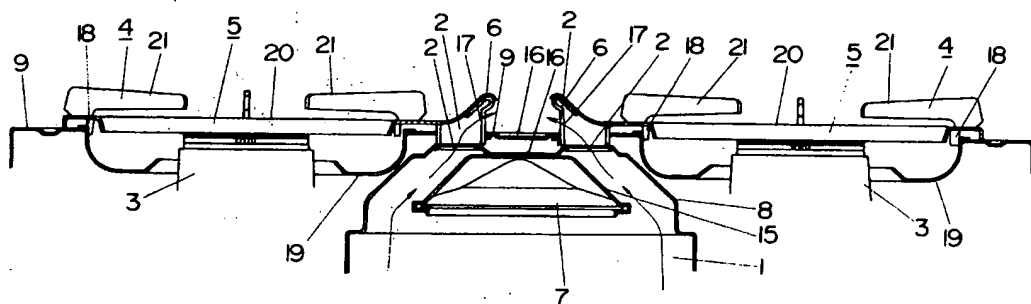
第3図



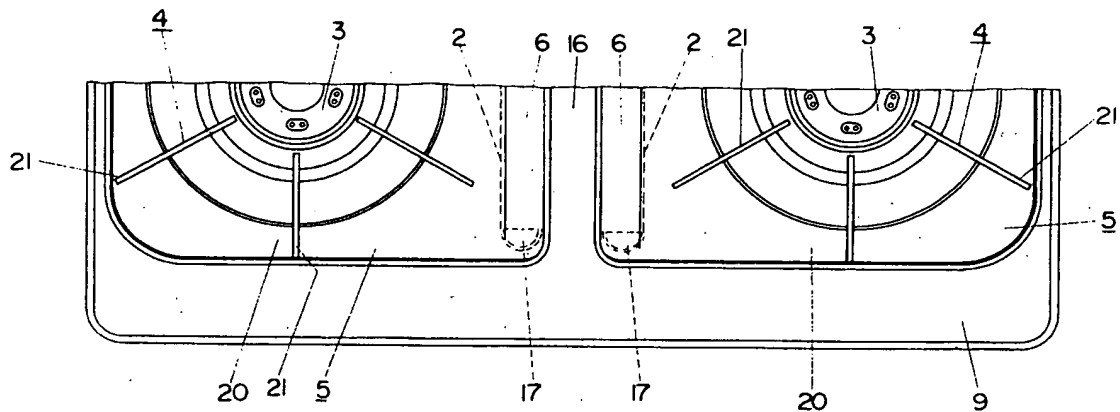
第4図



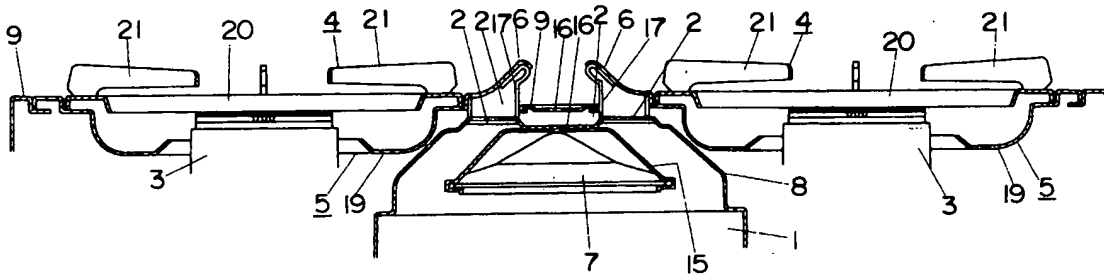
第5図



第6図



第 7 図



⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭56—144340

⑮ Int. Cl.<sup>3</sup>  
F 24 C 15/14  
15/20

識別記号

庁内整理番号  
7116—3L  
7116—3L

⑬ 公開 昭和56年(1981)11月10日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 5 頁)

⑭ ガステーブル

⑯ 特 願 昭55—48504

⑰ 出 願 昭55(1980)4月11日

⑱ 発 明 者 池田和夫  
堺市山本町1丁23番地株式会社  
ターダ内

⑲ 発 明 者 杉本友治  
堺市山本町1丁23番地株式会社  
ターダ内

⑳ 出 願 人 株式会社ターダ  
堺市山本町1丁23番地

㉑ 代 理 人 弁理士 石田長七

明 細 書

1. 発明の名称

ガステーブル

2. 特許請求の範囲

(1) グリルの上部に上バーナを配設し、上バーナの両側部上方に排気ガス排出用の排気口を形成し、グリルの側方に配設したコンロ用ガスバーナの周部に五徳を支持する五徳支持板を取付け、五徳支持板のグリル側の側端部より斜外上方へ向け煮汁返し片を延出すると共に煮汁返し片を上記排気口の上方に位置せしめて成ることを特徴とするガステーブル。

3. 発明の詳細な説明

本発明はグリルを有するガステーブルに関し、グリル(1)の上部に上バーナ(7)を配設し、上バーナ(7)の両側部上方に排気ガス排出用の排気口(2)を形成し、グリル(1)の側方に配設したコンロ用ガスバーナ(3)の周部に五徳(4)を支持する五徳支持板(5)を取付け、五徳支持板(5)のグリル(1)側の側端部より

斜外上方へ向け煮汁返し片(6)を延出すると共に煮汁返し片(6)を上記排気口(2)の上方に位置せしめて成ることを特徴とするガステーブルに係るものである。

グリル(1)を有するガステーブルとしては従来より第1図、第2図の如きものが一般的である。すなわち、グリル(1)の上部内の上バーナ(7)の上方位置にてグリル天板(8)とテーブル天板(9)とに排気口(10)(10)を形成し、グリル天板(8)の排気口(10)に排気孔(11)を側面に有する排気蓋(12)を取付けたものである。しかしながらこのものではコンロ用ガスバーナ(3)の五徳(4)上の鍋などからこぼれ落ちる煮こぼれ汁がグリル(1)内に入らないようにするための排気蓋(12)が別部品として必要であると共にこの排気蓋(12)の手入れが面倒であり、また五徳固定板(5)上に流れた煮こぼれ汁は排気蓋(12)の排気孔(11)よりグリル(1)内に流れ落ちて煮こぼれ汁がグリル(1)内の上バーナ(7)にかかり、上バーナ(7)の寿命を縮めるおそれがあった。

本発明は上記の点に鑑みてなされたものであつた。

(1)

(2)

て、排気蓋などの別部品を必要とすることなく五徳を支持する五徳支持板を利用して煮こぼれ汁がグリル内に浸入することを防止できるガステーブルを提供することを目的とするものである。

以下本発明を実施例により詳述する。ガステーブルは第3図のように中央部にグリル(1)を設けると共にグリル(1)の両側にコンロ用ガスバーナ(3)(2)を取付けて形成されるもので、グリル(1)の上部内には第4図のように赤外線型の上バーナ(7)が、グリル(1)の下部の両側にはラッセン型ガスバーナ(4)がそれぞれ設けてある。上バーナ(7)の上部には、煮こぼれ汁やグリル(1)内の高温の排気ガスが上バーナ(7)上面のほうろろ層に直接作用してほうろろ層にひび割れが入つたりすることを防止するためのステンレス鋼製保護カバー(8)が取付けてある。また、グリル(1)の内壁のグリル天板(8)上部には上バーナ(7)の両側部上方位置にて一对の排気口(2)(2)が第5図のように形成してあり、さらにガステーブルの上面のテーブル天板(9)にもグリル天板(8)の排気口(2)(2)と上下に対応する位置にて一对の排気

(3)

付けた煮汁受け(10)の周部に係止させたりすることにより、テーブル天板(9)上に位置決めして取付けるものである。

しかして、五徳(4)上の鍋などより煮こぼれた煮こぼれ汁が排気口(2)上に落下しても五徳固定板(6)の煮汁返し片(6)によつて煮こぼれ汁は受けられ、排気口(2)に煮こぼれ汁が入ることを防止すると共に煮汁返し片(6)の傾斜で煮汁返し片(6)上に落下した煮こぼれ汁は五徳固定板(6)の内方へ流れて煮汁受け(10)に受けられる。また一对の五徳固定板(6)(6)の煮汁返し片(6)(6)の先端間に落下した煮こぼれ汁はテーブル天板(9)やグリル天板(8)の中央板片(10)によつてグリル(1)内に浸入することを防止する。さらに五徳固定板(6)上に流れた煮こぼれ汁は煮汁返し片(6)によつて押し返されて排気口(2)に流れ込むのを防止すると共に煮汁返し片(6)で押し返された煮汁は煮汁受け(10)に受けられる。

尚、煮汁返し片(6)は、五徳(4)を上部に支持する煮汁受け(10)を五徳固定板(6)として、この煮汁受け(10)より第7図のように延出することにより形成し

(6)

口(2)(2)が形成してある。従つて上バーナ(7)の中央部上方はグリル天板(8)とテーブル天板(9)の中央板片(10)で覆われて、上バーナ(7)の保護カバー(8)の中央部に煮こぼれ汁がかかることが防止される。五徳(4)は中央が開口となつた五徳固定板(6)に複数個の五徳爪(20)を一体又は別体で固設することにより形成されているもので、五徳固定板(6)はコンロ用ガスバーナ(3)の周部にてテーブル天板(9)上に載置してある。第3図乃至第6図の実施例ではこの五徳固定板(6)を五徳支持板(5)として、五徳支持板(5)のグリル(1)側の端部は第5図のように排気口(2)の上方位置に延出されかつ斜外上方へ湾曲状に延出された煮汁返し片(6)としてある。従つて左右一对の排気口(2)(2)はグリル(1)の両側の五徳支持板(5)(5)の煮汁返し片(6)によつて上方を覆われることとなる。五徳支持板(5)としての五徳固定板(6)は、煮汁返し片(6)の下面に設けた嵌合脚(11)をテーブル天板(9)の排気口(2)の端部に嵌め込んだり、五徳固定板(6)の下面に突設した係止突片(12)をコンロ用ガスバーナ(3)の周部にてテーブル天板(9)に脱着自在に取

(4)

てもよいものである。この場合は煮汁返し片(6)で押し返された煮汁は直接煮汁受け(10)の下部内に受けられる。

上記のように本発明は、五徳支持板のグリル側の側端部より斜外上方へ向け煮汁返し片を延出すると共に煮汁返し片をグリル上部の排気口の上方に位置せしめたので、排気口は煮汁返し片で上方を覆われて煮こぼれ汁が排気口よりグリル内に落下するおそれがないと共に、五徳支持板上を流れた煮こぼれ汁も煮汁返し片で押し返されて排気口内に流れることを防止でき、五徳を支持する五徳支持板を利用して煮こぼれ汁が排気口に浸入することを防止できるものであつて、従来のように排気蓋などを用いる必要がないものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は従来例の斜視図、第2図は同上の上部部分の正断面図、第3図は本発明一実施例の斜視図、第4図は同上のグリル部分の断面図、第5図は同上の上部部分の断面図、第6図は同上の一部省略上面図、第7図は他の実施例の上部部分の

(6)

PAT-NO: JP356144340A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 56144340 A

TITLE: GAS TABLE

PUBN-DATE: November 10, 1981

**INVENTOR-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
------	---------

IKEDA, KAZUO	
--------------	--

SUGIMOTO, TOMOJI	
------------------	--

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
------	---------

KK TAADA N/A	
--------------	--

APPL-NO: JP55048504

APPL-DATE: April 11, 1980

INT-CL (IPC): F24 C 015/14 , F24 C 015/20

US-CL-CURRENT: 126/299C

**ABSTRACT:**

PURPOSE: To prevent spilt soup from entering into a grill by an arrangement wherein a spilt soup returning strip curved obliquely upward is attached at the side edge of each trivet supporting plate, and this spilt soup returning strip is located above an exhaust opening at the upper portion of the grill.

CONSTITUTION: A spilt soup returning strip 6 curved obliquely upward is attached at the side edge of each trivet supporting plate 5 disposed around gas burner 3 for a small kitchen range. This spilt soup returning strip 6 is located above an exhaust opening at the upper portion of a grill 1. By so doing, the grill 1 is covered with the spilt soup returning strip 6 at the upper side thereof, thus eliminating a fear that the spilt soup would be dropped into the grill 1. In addition, the spilt soup flowing over the trivet supporting plate 5 is returned by the spilt soup returning strip 6, and hence can be prevented from entering into the grill 1.

COPYRIGHT: (C)1981,JPO&Japio